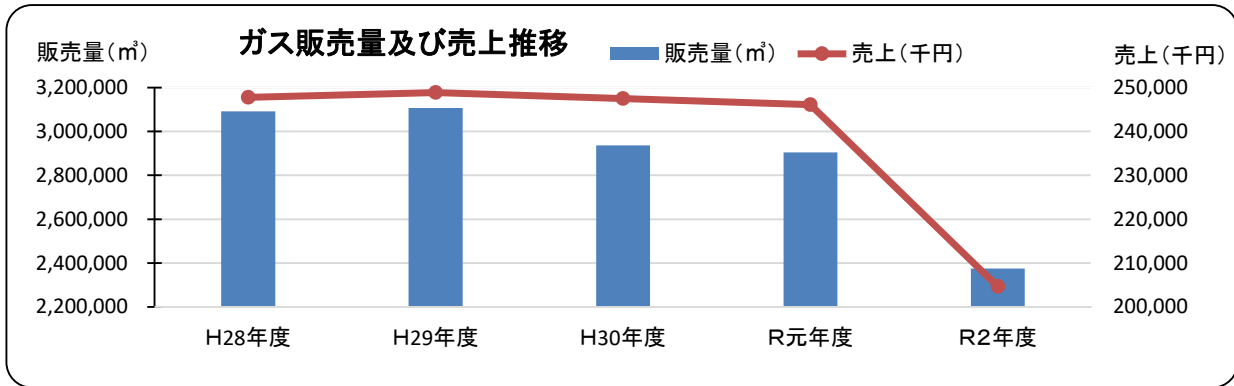
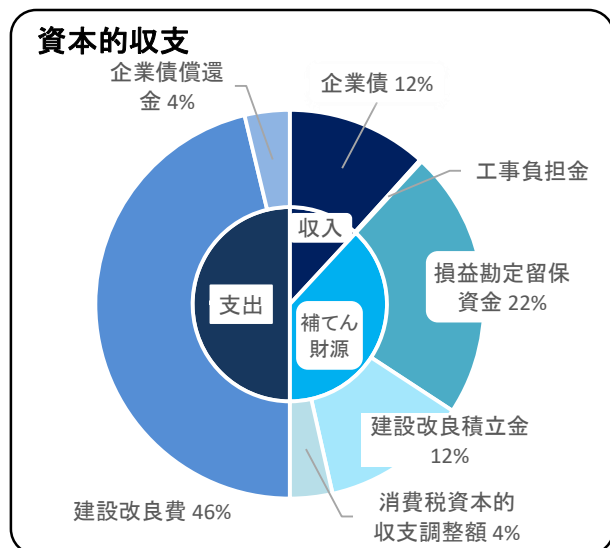
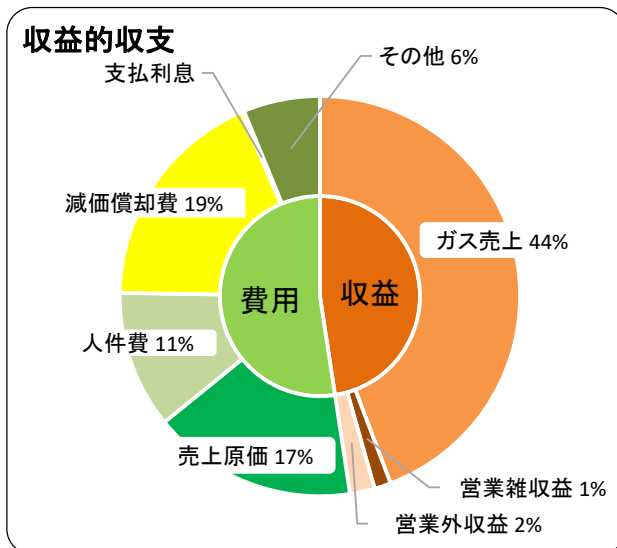


令和2年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事 業 概 要
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末需要家件数 2,904件【年間累計数:34,877件】 (対前年度 7件減少、年間累計 87件減少) ・ ガス販売量(9,200kcal) 2,375,511m³ (対前年度 529,400m³減少) ・ ガス導管延長 120,588.5m (対前年度 78.0m増加) ・ 供給管本数 3,289本 (対前年度 9本増加)



収 支	予算額 (A) 千円	決算額 (B) 千円	増減額 (B)-(A)	対前年度比 (%)
収益的収支 (税抜)				
ガス事業収益	289,370	220,070	▲ 69,300	83.8%
ガス事業費用	296,922	242,282	▲ 54,640	92.0%
当年度純利益 (▲損失)	—	▲ 22,212	—	▲ 2,625.5%
繰越利益剰余金	—	164	—	▲ 16.3%
その他未処分利益剰余金変動額	—	53,430	—	皆増
当年度未処分利益剰余金	—	31,382	—	19,135.4%
資本的収支 (税込)				
資本的収入	32,000	30,457	▲ 1,543	59.8%
資本的支出	156,829	128,281	▲ 28,548	89.8%
差引不足額	—	97,824	—	106.5%



収 支 概 要

収益的収支(税抜)において、ガス事業収益は、新型コロナウイルス感染拡大抑止による商業用途でのガス売上が減少した影響が大きく220,070千円(前年度比 83.8%)でありました。

また、ガス事業費用は、固定費の中でも老朽化設備の更新に伴う減価償却費が増加した影響から242,282千円(前年度比 92.0%)で、経営効率化努力等を反映してもなお費用が収益を上回り、純損失 22,212千円が生じましたが繰越利益剰余金 164千円及び利益積立金取崩額 22,048千円で補てんしました。

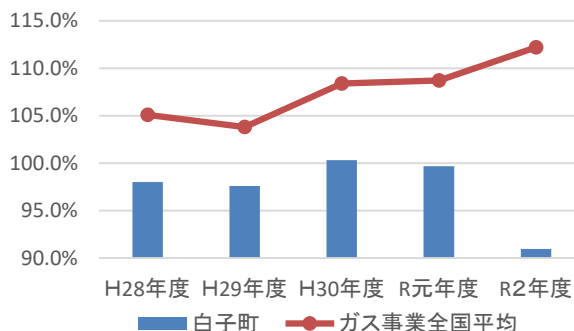
また、未処分利益剰余金 31,382千円は建設改良費の補てんに充てた建設改良積立金の取崩額であり、白子町ガス事業の設置等に関する条例第4条第1項第2号による処分として、資本金に組入れる剰余金処分案を提出しました。

資本的収支(税込)からは、資本的収入にて移住定住施策に伴う工事負担金収入があったものの30,457千円(前年度比 59.8%)、対する資本的支出は、最優先課題である安全安定供給に向けた老朽管の入替え及び災害リスクの解消に向けたガスシステムのクラウド化を進め128,281千円(前年度比 89.8%)、発生する不足額 97,824千円を消費税資本的収支調整額 9,073千円及び損益勘定留保資金 57,369千円並びに建設改良積立金 31,382千円にて補てんしました。

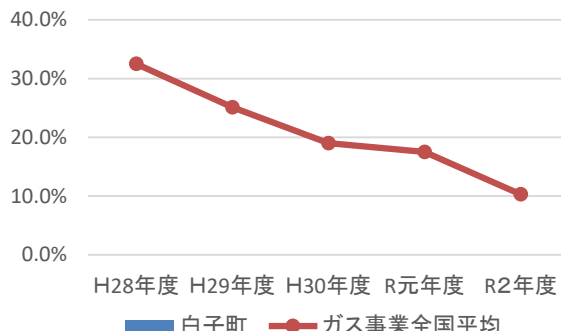
剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	繰越利益剰余金	未処分利益剰余金
R2年度期首残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	164千円	—
当年度純利益(△損失)	—	—	—	—	△ 22,212千円
当年度剰余金変動額	0千円	△ 22,048千円	△ 31,382千円	△ 164千円	53,594千円
R2年度期末残高	13,250千円	52,952千円	76,459千円	0千円	31,382千円

財務分析指標

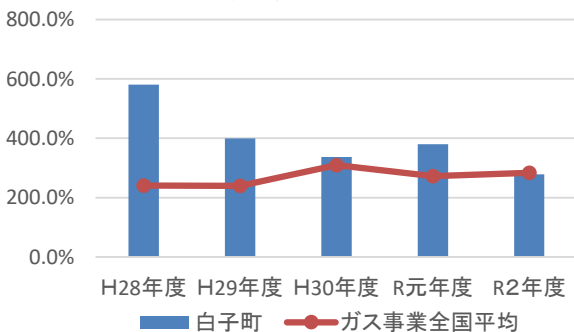
経常収支比率



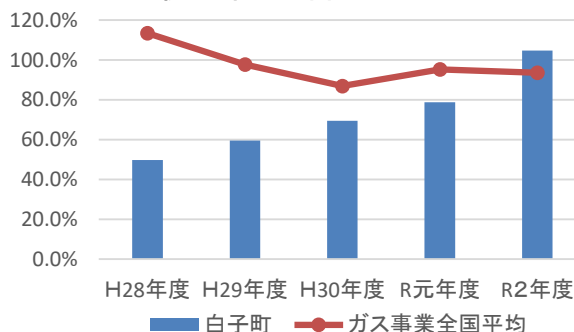
累積欠損金比率



流動比率



企業債残高対料金収入比率



経営健全化判断比率

公営企業法の有無	算 式	経営健全化基準	資金不足比率
有	$(\text{流動負債} + \text{建設改良に充てる企業債} - \text{流動資産}) / (\text{営業収益} - \text{受注工事収益}) * 100$	20.0%	—

※ 算出されない場合は「—」表示